

---

# 日本人間関係学会ニュース 第 84 号 発行日:2015.6.14

## News No.84 Japan Association of Human Relations June 14, 2015

発行：日本人間関係学会 広報委員会 E-mail:tanikawa@kusw.ac.jp 谷川和昭研究室  
事務局：〒278-8510 千葉県野田市山崎 2641 東京理科大学理工学部教養科川村(幸)研究室  
FAX:04-7122-1560 E-mail:jahrjimukyoku@gmail.com

---

[内容] ☆大会委員長挨拶 ☆支援活動委員会報告 ☆埼玉・山梨合同研修会のご案内 ☆学会記事 ☆事務局便り

---

### 《大会委員長挨拶》

## 日本人間関係学会第 23 回(熊本)大会に向けて

—九州ルーテル学院大学(熊本市)で 11.14-15(土・日)開催—

第 23 回(熊本)大会委員長 永野典詞  
(九州ルーテル学院大学教授)



日本人間関係学会第 23 回全国大会を九州は火の国熊本、九州ルーテル学院大学を会場に開催いたします。九州ルーテル学院大学は熊本市内中心部に位置し阿蘇

くまもと空港や熊本駅からアクセスもよく、たくさんの会員の皆様にご参加いただけますことを願っております。

さて、今大会のテーマは「互いに認め合い、赦し合える人間関係を目指して」です。現在、社会は他者を承認し、認め合うことができにくい環境になっているように感じます。地域社会において人々が個別性のある 1 人の人間として互いに尊重し、違いを認め合える社会作りが喫緊の課題ではないでしょうか。家庭における子育て、学校での生徒・学生支援、企業の人材育成など、社会生活において人の成長に欠かせないのが「認められる(承認)経験」です。認められることで、人は自信を

持ち成長していくことが可能になると言われています。

そこで、基調講演では当学会理事長の小山望先生にご登壇いただき、心理学者の視点からご講演いただきます。また、大会企画シンポジウムでは心理学、高齢者福祉、人権、子ども、学生支援の各専門領域の研究者から「承認し受容する社会を作るための専門職の役割」についてご発表いただきます。

大会では、会員の皆様、それぞれの専門領域から研究(実践)発表をいただきたいと考えています。日本人間関係学会の特徴でもある学際的な視点から議論を深め、社会における良好な人間関係構築の手立て、あり方を示唆いただけることを願っています。

最後になりますが、熊本は観光(阿蘇や天草、熊本城など)、郷土料理(馬刺しや焼酎)、温泉と幅広くお楽しみいただけるところです。会員の皆様お誘い合わせの上、第 23 回大会にご参加いただけましたら幸いです。



大会テーマ「—互いに認め合い、赦し合える人間関係を目指して—」 ぜひご参加ください

## 支援活動委員会 3月期 活動報告

2015年3月13日（金）～15日（日）で支援活動として南三陸町へ行ってまいりました。  
以下3日間の支援活動報告になります。

### 3月13日（金）

#### ○ 徳性寺訪問

〈目的〉 地域の方の情報収集

黒糖蒸しパン作り

地域情報収集後、蒸しパン作り、悩み相談も伺った。

#### ○ 地域をまわる

〈目的〉 継続訪問

Aさん 亡くなった娘家族の法要を行ったとのことではじめがついたとのこと。

“残された者は前を向いて生きていかなきゃなんねえ”と語る。齟齬のあった、嫁さんとも最近は関係が良くなってきた様子。歩き方に元気さがみられ、表情も明るく別人のようであった。訪問を喜んでくれた。

#### ○ 南三陸町保健センター訪問

やっと仮設住宅から高台移転の方向が見えてきたが、移った先でコミュニティの形成の課題がある。とくに高齢者が多い災害公共住宅では、コミュニケーション作りが必要である。

来年、再来年にこれから建物が完成する公共住宅でのコミュニティ形成の担い手が不足してくるので、本学会も支援をお願いしたいという依頼がありました。

### 14日（土）

#### ○ 細浦仮設 子どもたちとの交流

埼玉学園大学学生ボランティア、埼玉学園大学大学院小山ゼミ、東京理科大学ココサポサークル



#### ○ 地域住民との相談

前回5歳のお嬢さんのPTSD症状について相談された経緯があり、その後を伺った。

サイレンなどの音に敏感に反応し怖がるのは変わらない。保育園では我慢しているが自宅では異常な怖がり方をするとのこと。“みんないるし大丈夫だよ、助けに来てくれてる音だからね”と説明しているようだ。安心感、安全感を伝えるなど助言した。

○ 仮設住宅集会所でピッツア作り（細浦地区交流会）

午前中は子どもたちから現在の様子や移動（新しい家へ）の話聞いた。

地区に住む B 君（母親が行動や発達を心配している）の情報を聞いた。

午後 2 時よりピッツア作り。参加者は 4 名、後に 2 名いらして 6 名。

参加者のおひとは以前にお悩み（災害直後の辛い体験）を伺った方だった。ストレスから血圧が上昇し服薬中ではあるが今年夏には高台移転が叶うとのこと。明るい希望が実現することで過去のさまざまな出来事の辛さも整理がきつくと語られた。

15 日（日）

○ 細浦仮設 わかめ加工作業 手伝い・細浦仮設 子どもたちとの交流

埼玉学園大学学生・埼玉学園大学大学院の小山ゼミ、東京理科大学 ココサポサークル

○ 感謝のつどいに参加

南三陸町ボランティアセンター・南三陸町保健福祉課・南三陸町社会福祉協議会 主催



学会員感想

今回の支援活動では、「海の神様と山の神様が、人々を見守っている。」そんな思いを強く感じました。湾の近くにはたくさんの思い出があり、山を切り開いた高台には大きな夢が「家」と言う形になって現われていました。

高台の生活の厳しさより安全を選び、つらい思い出と向き合いながらも、この地で生きる家族の強さを感じました。わかめ作業をする家族の中には、中高生の姿がありました。ごく自然なことなのに、私の周りには普段見ることが少ない光景です。なぜかとても心が暖かくなりました。

**参加者** 小山理事長、支援活動委員会委員会の皆さん（河合委員長、小峯さん、川瀬さん、武井さん、佐々木さん、松田さん、埼玉学園大学小山ゼミの皆さん、東京理科大学ココサポの皆さん、計 19 名

カンパ等、支援活動をお支えいただいている先生方  
小山先生、川村先生、三好先生、占部先生、佐藤先生、勅使河原先生、  
杉本先生、山中先生、山田先生、山本先生（順不同）  
いつもありがとうございます。

日本人間関係学会 支援活動委員会企画

## 「第2回 南三陸被災地応援ツアー」

早いもので東日本大震災から5年目を迎えました。日本人間関係学会ではいち早く宮城県南三陸町への支援活動委員会を発足させ、現在も継続して南三陸町へ足を運んでおります。2012年の日本人間関係学会第20回全国大会は宮城県仙台市で行っております。大会前日には、「南三陸被災地応援ツアー」を行い大勢の会員の皆様に参加いただきました。あれから3年経過した南三陸町の様子を皆さんの目で見て頂きたく、今回日本人間関係学会では再度ツアーを企画致しました。

日 程： 8月29日（土曜日）

金 額： 一人1万円前後（昼食＋移動費＋ガイド費＋支援活動カンパ代金すべて含みます。）  
決まり次第ご連絡致します。

最少催行人数：3名

スケジュール：（当日変更がある場合がございます。）

11:00 くりこま高原駅に各自で集合

12:30 細浦仮設住宅の方々と昼食をはさんで交流会（場所 仮設集会所）小山理事長も同席  
お弁当とお茶はこちらで用意致します。

14:00 細浦仮設 日本人間関係学会支援活動（子どもたち）（体育館）見学、高台住宅見学  
南三陸町防災対策庁舎見学

15:30 南三陸町さんさん商店街 お土産の購入など

16:30 駅へ移動

17:30 くりこま高原駅で現地解散

### お申し込み

南三陸町支援活動委員会 事務局

河合高鋭（和泉短期大学）まで

Email： [minamisanriku\\_jimukyoku@yahoo.co.jp](mailto:minamisanriku_jimukyoku@yahoo.co.jp)

メールには、タイトルを「第2回 南三陸被災地応援ツアー」として頂き、お名前・ご所属・ご連絡先・Emailを記載ください。

返信のない場合は、学会事務局へご連絡ください。

日本文学関係学会 支援活動委員会  
**南三陸町支援参加者の募集**

日本文学関係学会では、宮城県南三陸町への支援活動を続けています。  
学会員の皆さんからこの支援活動に参加してくれる方を募集しています。是非、ご協力お願いいたします。もちろんご参加はできる範囲で結構です。

支援活動に参加して下さり、登録して下さる方は、下記にご連絡ください。  
どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

日本文学関係学会理事長 小山望

次回の南三陸町への支援活動は、2015年8月29日（土）と30日（金）の2日間です。  
参加を希望する会員は 下記の連絡先に、氏名、所属先、連絡先（Eメール）をお知らせください。

日本文学関係学会 支援活動委員会  
河合高鋭（和泉短期大学）

Email [minamisanriku\\_jimukyoku@yahoo.co.jp](mailto:minamisanriku_jimukyoku@yahoo.co.jp)

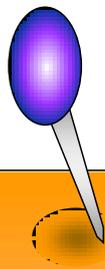
## 《会員の書籍紹介》

『しなやか自分心わーく』  
杉山雅宏 著  
本体価格：2000円  
A5版・261頁  
悠々舎・東京六法出版  
2014年5月30日 発行



### 著者・杉山先生からのメッセージ

心理学は人の心を行動や身体の状態から読み解く学問です。  
心理学の考え方や知識をもっと身につけて、自分を知ることができれば、隠れていた心がわかり、自らの行動や会話をコントロールすることができます。自分を大切だと思える人こそが、他人を大切に思えるはず。本書は、自分を大切に、しなやかな心で生きることができるようなお手伝いができる心理学の入門書です。



## 埼玉・山梨合同研修会（ロールプレイング研修会の案内）

このたび、埼玉ロールプレイング研究会と山梨ロールプレイング研究会がコラボして研修会を開催することになりました。本学会員も是非ご参加ください。

目 的：ロールプレイング的サイコドラマを体験して自己と他者との人間関係の修復や改善をめざす。自己の人間関係の成長をはかるためのドラマ体験を行う

期 日：平成27年8月23日（日）・24日（月）

会 場：エキシブ山中湖（会員制のリゾートホテル）

交 通：新宿西口高速バスで山中湖行き

<http://reserve.resort.co.jp/hotels/xiv/yama/index.html>

「エキシブ山中湖 | リゾートトラスト株式会社」

〒401-0502 TEL：0555-65-9000

山梨県南都留郡山中湖村平野562-15

会 費：一般¥20,000円 院生¥16,000円（一泊二食付き）

定 員：25名（先着順）

プログラムの予定：

8月23日（日）

受付 10:30 山中湖村情報創造館 詳細は追って連絡。

セッション（1） 11:00~15:00 15:15~18:30 エキシブ山中湖チェックイン、自由行動

夕食（バイキング）・懇親会 18:30~20:30 21:00~山梨RP会歓迎会

8月24日（月）

セッション（2） 9:30~11:45 12:00~昼食 うどん屋「吉田屋」にて その後解散

講 師：小山望（埼玉学園大学大学院教授・日本人間関係学会理事長、埼玉RP研究会会長）

企画コーディネーター：福田聖子（山梨県ロールプレイング研究会会長）

問い合わせ：福田聖子 [fukuta\\_seiko@yahoo.co.jp](mailto:fukuta_seiko@yahoo.co.jp) 080-5052-3116

小山望 [oyama07@kbf.biglobe.ne.jp](mailto:oyama07@kbf.biglobe.ne.jp) 080-5447-1518

備 考：研修会に参加すると本学会の人間関係士の資格研修講座「心理劇・ロールプレイ」4時間、4ポイントの受講修了書が得られます。



（編集後記）

学会ニュースは、広報誌『こころの広場』との棲み分けにより年3回発行となりました。発行時期は、①大会4~5か月前、②大会1か月前、③大会2~4か月後が目安です。紙面内容はできるだけアップツーデートなものとなるよう努めます。これからも皆様方のご支援ご協力を何卒よろしくお願いいたします。（谷川）